

経営比較分析表（令和6年度決算）

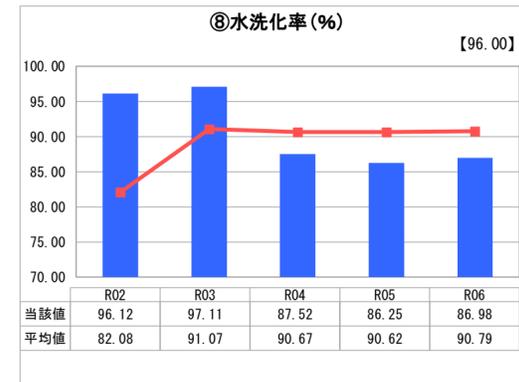
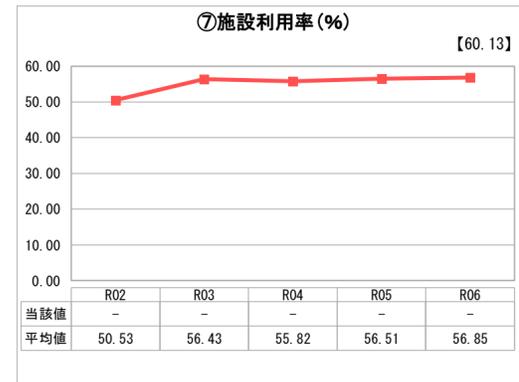
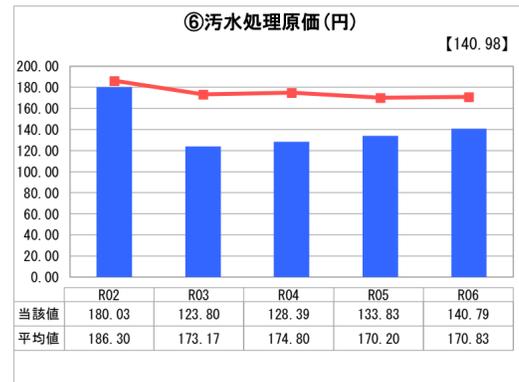
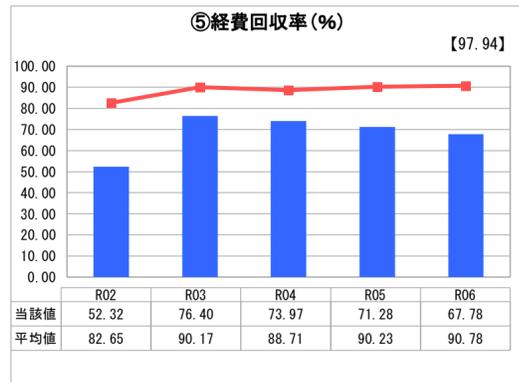
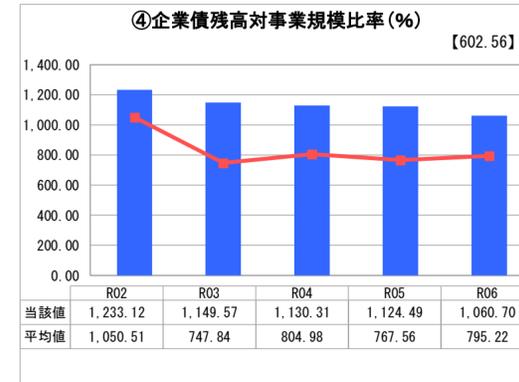
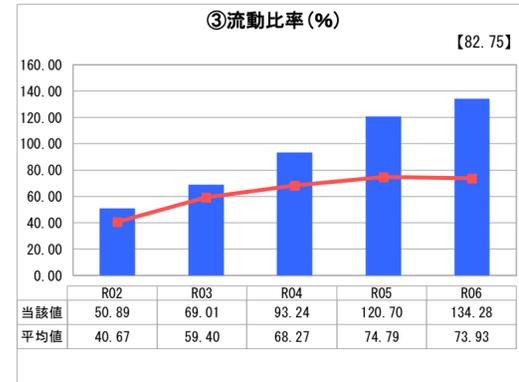
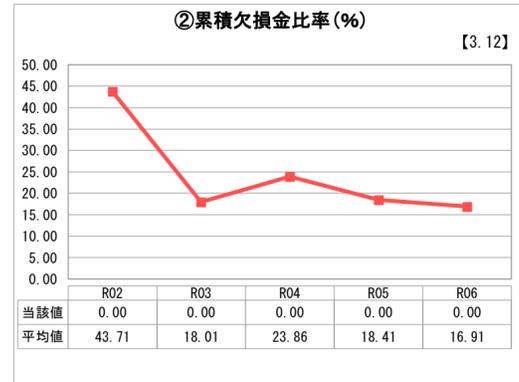
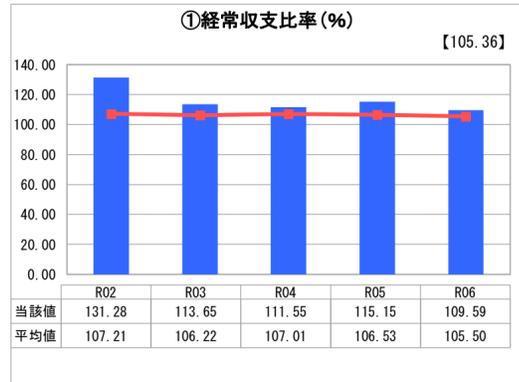
岐阜県 岐南町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc1	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)
-	70.26	97.20	100.00	1,919

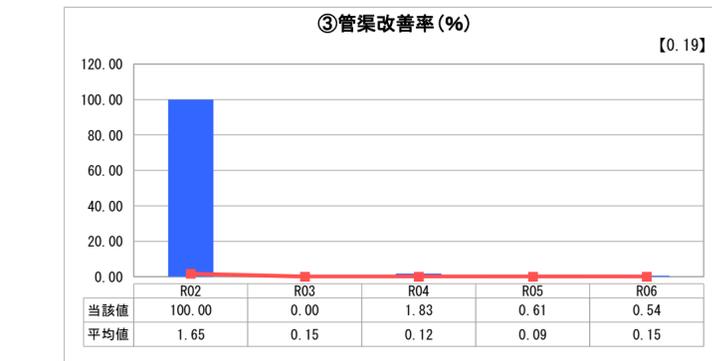
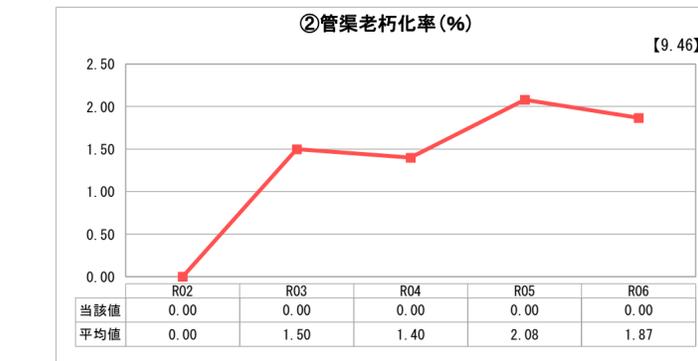
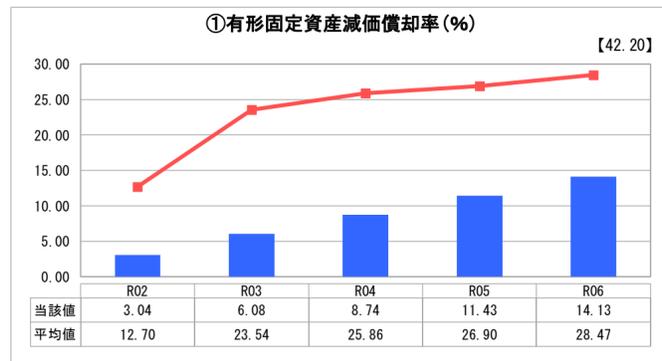
人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
26,366	7.91	3,333.25
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
25,667	7.20	3,564.86

グラフ凡例	
■	当該団体値 (当該値)
—	類似団体平均値 (平均値)
【	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和2年度に地方公営企業法を適応した。
 ① 経常収支比率は、100%を超えているが、これは下水道使用料収入で賄い切れていない費用分を繰入金として一般会計より繰り入れられている状態である令和8年4月に下水道使用料の改定を行う。
 ② 流動比率は、前年から13.58ポイント増加し100%以上を維持している。
 ③ 企業債残高対事業規模比率は、類似団体よりも高い数値ではあるが、減少傾向のままである。
 ④ 経費回収率は、67.78%と法適応後から常に100%を下回っており、一般会計からの繰入金に依存している状態である。
 ⑤ 汚水処理原価は、低く抑えられているが、これは使用料が低いため、今後の料金改定より高くなることが予測される。そのため、他の木曽川右岸流域下水道で処理されていると比較しつつ対応を進めていく必要がある。
 ⑥ 水洗化率が他団体と比較して低いことから下水道加入への啓発を行っていく必要がある。

2. 老朽化の状況について

管路施設は、まだ耐用年数（50年）を超えた管渠は存在しないため、管路老朽率は0%となっておりますが、将来の老朽管の更新を見越した事業計画や財源の確保、管路更新等費用の平準化を進めている。

全体総括

下水道事業経営は、経費回収率が低いことに表れている通り、下水道使用料が低く一般会計からの繰入金に依存している。令和6年度に経営戦略を見直し、令和7年度に上下水道経営審議会で料金改正について諮り、令和8年4月より料金改正を行うことが決定した。このことから、繰入金に依存する状況は改善すると考えます。
 今後、人口減少や節水型の普及が促進することで水需要の減少に伴い排水量も減少すると予測される。加えて、老朽化する管渠の更新費用や流域下水道事業の負担金見直し等が見込まれることから、健全で効率的な経営となるような長期的な計画策定に重点を置く必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。